

# 2024 年度定時社員総会

## 議 案 書

日 時：2024 年 6 月 23 日(日)  
10 時 00 分～11 時 00 分

場 所：当法人本部事務所  
(東京都千代田区西神田二丁目 7 番 6 号川合ビル 33 号室)  
及び各拠点からオンラインで実施

一般社団法人 消費生活総合サポートセンター

## 2024 年度定時社員総会議案

決議事項	ページ
第 1 号議案 2023 年度事業報告の件	2
第 2 号議案 2023 年度決算報告及び監査報告の件	8
第 3 号議案 理事の選任の件	13
第 4 号議案 監事の選任の件	13

### 報告事項

1. 2024 年度事業計画及び収支予算の件	13
------------------------	----

## 第1号議案 2023年度事業報告の件

2023年度事業報告について、以下のとおりお諮りします。

### 2023年度事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

消費生活総合サポートセンターでは、消費者が直面する社会的課題の解決のため、資格や領域を横断しながら3つの柱で活動しており、2023年12月で設立から4年が経ちました。「福祉サービス第三者評価」では利用者との面談等を重ね、事業者が業務改善のヒントを見つけることができるよう、ていねいな評価に努めています。「消費者教育関連の講座」については、契約、金融、環境とSDGsといった多岐にわたる分野において、学校教育における生徒や学生だけではなく、高齢者や軽度の知的障害者、担い手である講師といったさまざまな立場に向けて実施しているところです。「全国ネットワーク会議」では、毎年その折々で重要なテーマを取り上げながらこれまでに5回開催しており、2023年度は企業におけるクレーム対応について消費者市民社会を形成するための消費者、企業、行政の役割を議論し、多様な主体の方々とのネットワークを模索しました。

以下に、2023年度の活動内容について当センターの各活動方針と併せて報告します。

#### 1. 情報の収集、発信

##### 1-1 消費生活出前講座

身近な消費生活に役立つ講座を、学校向け・一般社会人向けに実施しています。ご依頼いただく講座が専門化する中で13件の講座を行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	4月25日	中学2年生	エシカル消費	239名
2	7月4日	小学6年生	エシカル消費	109名
3	7月10日	小学5年生	海の環境問題	34名
4	8月3日	一般市民の親と子	親子で学ぶお金	42名
5	8月9日	小学生	エシカル消費	5名
6	8月26日	一般市民	エシカル消費	21名
7	10月26日	一般市民	エシカル消費	30名
8	10月27日	高校3年生	エシカル消費	50名
9	10月30日	一般市民	エシカル消費	11名
10	11月24日	小学4年生	海洋汚染と地球の温暖化	51名
11	12月21日	小学5年生	エシカル消費	115名
12	2月8日	小学6年生	エシカル消費	80名
13	2月15日	小学6年生	エシカル消費	142名

## 1-2 福祉サービス第三者評価

福祉サービス選択のための情報提供と福祉サービスの質向上に向けて、都内福祉事業所等の委託を受けて、第三者評価を行っています。2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、事業所訪問が可能となり、リモートではなく直接面談による聞き取りを行うことができました。しかし、事業所では、感染者の発生は断続的に続き、評価に当たっては感染防止等に配慮し、短時間の滞在に努めるなどして合計24件の評価(内、利用者に対する調査4件)を行うことができました。2023年度は、従たる評価者が新規に1名加わり、更に力強い協力を得ることができました。また、評価者養成講習を経て、新たに1名の評価者が誕生しました。実質稼働は来年度からとなります。

実施内容	サービス種別	事業者名
第三者評価	特別養護老人ホーム	緑寿園 信愛のぞみの郷 シャローム東久留米 特別養護老人ホーム洛和ヴィラ文京春日 特別養護老人ホーム洛和ヴィラ南麻布 西恋ヶ窪にんじんホーム
	短期入所生活介護	特別養護老人ホーム洛和ヴィラ南麻布
	認知症対応型共同生活介護	グループホームにんじん・西恋ヶ窪 ライブラリ葛西 ライブラリ北砂 ライブラリ江戸川松島 清戸の里グループホームひまわり
	通所介護	緑寿園ケアセンター 洛和デイセンター南麻布
	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護こゆらり高輪
	地域密着型通所介護	東青梅デイサービスセンター
	認知症対応型通所介護	東青梅デイサービスセンターすずらん 緑寿園ケアセンター
	通所リハビリテーション	洛和デイセンターサラサ
	介護老人保健施設	洛和ヴィラサラサ
利用者調査	特別養護老人ホーム	長淵園 信愛の園 聖ヨゼフ老人ホーム
	養護老人ホーム	聖家族ホーム

## 1-3 社会的課題のある消費者への対応

若者、高齢者、障害者向けに求められる消費者教育教材の作成や研修・講座を行っており、講座については11件行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	5月16日	大学生	消費者教育とエシカル消費	10名
2	6月21日	高校1年生	ネットショッピングトラブル	87名
3	6月22日	高校1年生	ネットショッピングトラブル	87名
4	10月28日	障害をお持ちの方	知的障害や精神障害のある方の金 銭管理	16名
5	2月26日	特別支援学校の高校生	消費社会に必要なこと	11名
6	3月5日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	103名
7	3月6日	特別支援学校の中学生	消費社会に必要なこと	6名
8	3月7日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	171名
9	3月8日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	62名
10	3月11日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	201名
11	3月13日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	96名

#### Topics:

「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」を61件配布

2022年度消費者庁長官賞を受けた教材を教育現場の先生方(希望者)に無料で配布し、活用いただいております。

## 2. リーダーとなる人材の育成

### 2-1 消費者教育の講師養成講座

国民生活センター及び自治体からの要請により消費生活相談員等に5件の講座を行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	7月25日	消費生活行政職員・消費生活相談員	消費者教育に携わる講師養成講座(高校生向けを中心に)	50名
2	9月5日	栃木県内の行政職員・消費生活相談員	消費者教育講師養成講座 契約編、エシカル消費編	20名
3	10月6日	消費生活行政職員・消費生活相談員	消費者教育に携わる講師養成講座(特別支援)	50名
4	10月19日	愛知県内の消費生活相談員・消費生活コーディネーター	特別支援学校に通う知的障害のある生徒を中心とした若者及びその支援者への講座	10名
5	11月30日	埼玉県金融広報委員会登録講師	特別支援学校の講座	13名

### 2-2 消費者代表となる人材の育成

#### 2-2-1 消費者白書勉強会の実施

消費者白書の勉強会をオンラインで実施しました。

開催日：2023年8月23日(水) 18:30~19:30

参加者：一般消費者5名、会員14名 計19名

内容：令和5年版消費者白書

「特集：つくる責任、つかう責任、減らす責任 ～食品ロス削減-持続可能な社会のために～」

講師：消費者庁 参事官(調査研究・国際担当) 付き主査 當麻江美 氏

## 2-2-2 「EEべんとう会」の実施

C サポ会員向けに会員同士でエネルギーに関する知識を深める場とすることを目的に、エネルギー関係の勉強会及びエシカル消費教材検討会(通称:EEべんとう会)を開催しました。

テーマ等は以下のとおりです。

	日時	テーマ	人数
1	4月21日	今年度の活動について/①EEべんとう会見学会/②新宿区消費者講座8回/③国民生活センター講座+金清先生の高校講座/④東京家政学院大学/⑤教材作り/⑥横浜の講座	5名
2	6月10日	講座のテキストについて意見交換/9月5日の栃木県講座の概要/新宿区消費者講座第8回のチョコについて/小林さんより steam ライブラリーの講座案内と授業案の提供/東京家政学院大学での講座内容について情報共有	8名
3	7月6日	講座のテキストについて意見交換/東京家政学院大学での講座内容について情報共有/事務連絡/新宿区消費者講座第8回のチョコについて/steam ライブラリーの講座案内と授業案の提供	6名
4	8月12日	講座のテキストについて意見交換/栃木県の講座/新宿区消費者講座第8回のチョコについて/steam ライブラリーの講座案内と授業案の提供	5名
5	9月9日	栃木県講座、東京大学中等教育学校の授業参観(共有)/新宿区の講座について/エシカル消費を調べよう(消費者白書特集より)	6名
6	10月14日	エシカル関連のチョコレート試食会	7名
7	11月11日	新宿区主催 消費生活展 見学/15:00~エシカルファッションショー見学(東京モード学園×伊勢丹×新宿区のコラボ企画)	6名
8	12月9日	新宿区第8回チョコレート講座の内容検討/著作権整理をする写真の検討	6名
9	1月13日	著作権整理をする写真の検討/山梨大学からの講座依頼/新宿区第8回チョコレート講座の内容検討	7名
10	2月10日	第53回消費者教育懇談会について/金融経済教育機構の概要/山梨大学からの講座について	8名
11	3月2日	山梨大学に提出するSDGs関連のパワポ資料とQ&A	7名

## 3. 行政・企業・団体との協働

### 3-1 消費者市民社会の実現

新宿区委託事業

新宿区で令和5年度全8講座の「消費生活講座」の企画運営をする委託事業をCサポが担当いたしました。全8回講座の内容は、「①親子で学ぼう!子どものおこづかい・お金の使い方、②スマホで学ぼう!家庭内のヒヤリハット(幼児・高齢者見守り編)、③これだけは知っておきたい!キャッシュレス決済の基礎知識、④ここがポイント!ネットショッピングの注意点(スマホ体験型)、⑤家庭洗濯とクリーニング店を使い分けることがサステナブル、⑥手肌と環境に優しいサステナブル掃除術、⑦投資デビューの基礎知識~NISAとiDeCoを中心に~、⑧エシカルな手作りチョコでちょこっとバレンタイン」というラインナップでした。タイトルだけでも多岐にわたる講座を行ったことが伝わるのではないかと思います。Cサポの多くのメンバーに担当いただけたことで、幅広い年齢層の参加者皆さまからご好評を賜ることができ、無事終了いたしました。

### 3-2 消費者志向経営セミナー等の開催

#### 全国ネットワーク会議の開催

この会議では、コロナ禍における顧客対応の変化と消費者市民社会の実現に焦点が当てられました。第一部では、消費者志向経営の重要性を説明し、特に「カスタマーハラスメント」への対策を強調しました。第二部では、カスハラとクレームの違いを詳述し、カスハラ対策の具体的な方法を提案しました。第三部のパネルディスカッションでは、カスハラ対応の重要性と企業の従業員教育の強化が議論され、消費者教育にカスハラ対策を取り入れることの重要性が強調されました。全体を通じて、カスハラへの対応策や消費者市民社会形成に向けた有益な情報交換が行われました。

開催日:2023年9月18日(月・祝) 13:00~16:00

場所:産業人材研修センター(霞会館)

参加者:会場参加者27名、オンライン参加者22名(不参加の方に後日配信もいたしました)

内容:第一部「企業における消費者対応の現状と課題」

講師 消費生活総合サポートセンター 消費者志向経営委員長 佐藤雄一郎

第二部「カスタマーハラスメントの対応について」

講師 株式会社リンクマインド 取締役専務 近藤修氏

第三部「パネルディスカッション・意見交換会」

パネリスト:株式会社リンクマインド 取締役専務 近藤修氏

株式会社イトーヨーカ堂 鈴木隆一氏

株式会社リンクマインド 沼田秀毅氏(資料参加)

### 4. 管理業務

#### ① 適格請求書発行業者の登録の申請

登録日は2023(令和5)年10月1日

#### ② 消費税簡易課税制度選択の届出

適用開始課税期間は2024(令和6)年4月1日から2025年3月31日

#### ③ 事業者登録の更新

東京都内区市町村の電子入札システムへの事業者登録の更新を行った。

#### ④ 個人情報保護勉強会

2023年6月29日(木)に、当センターの業務上のリスクを踏まえて、各委員会委員長及び関係者に対し個人情報保護法の勉強会を開催した。

## 5. 総会・理事会

### ① 総会

定時社員総会 2023年6月17日

- 決議事項 第1号議案 2022年度事業報告の件  
第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告の件  
第3号議案 理事の選任の件

報告事項 2023年度事業計画及び収支予算の件

### ② 理事会

第1回理事会 2023年5月28日

- 決議事項 第1号議案 2022年度事業報告の件  
第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告の件  
第3号議案 2023年度事業計画及び収支予算見直しの件  
第4号議案 規程の改定の件  
第5号議案 監事候補の選任の件  
第6号議案 事務局長人事の件  
第7号議案 正会員の入会承認の件  
第8号議案 2023年度定時社員総会の招集の件

第2回理事会 2023年10月22日

報告事項 職務執行状況の報告の件

第3回理事会 2024年3月23日

- 決議事項 第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算の件  
第2号議案 規程の改定の件  
報告事項 職務執行状況の報告について

6. 会員数 正会員 49名

## 7. 寄付

2023年度の寄付の詳細は、以下のとおりです。

	件数	金額	年度末の残高
寄付	8件	669,000円	357,908円

※いただいた寄付金は、非営利型事業の活動費に充当させていただきました。

第 2 号議案 2023 年度決算報告及び監査報告の件

2023 年度決算報告及び監査報告について、以下のとおりお諮りします。

### 貸借対照表

2024 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>	
<b>流動資産</b>	<b>4,878,696</b>
現金	2,182
普通預金	3,227,914
未収収益	1,648,600
<b>固定資産</b>	<b>51,500</b>
一括償却資産	0
差入保証金	51,500
<b>資産 合計</b>	<b>4,930,196</b>
<b>【負債の部】</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,026,897</b>
未払金	94,000
未払費用	0
未払法人税等	110,300
未払消費税等	161,200
預り金	661,397
前受金	0
<b>負債 合計</b>	<b>1,026,897</b>
<b>【正味財産の部】</b>	
<b>基金</b>	<b>3,000,000</b>
<b>一般正味財産</b>	<b>903,299</b>
一般正味財産期首残高	309,665
一般正味財産期末残高	593,634
<b>正味財産合計</b>	<b>3,903,299</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>4,930,196</b>

# 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目	非収益事業	収益事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
受取入会金	10,000		10,000
受取会費	286,000		286,000
事業収益		9,133,110	9,133,110
受取寄付金	669,000		669,000
その他収益			
受取利息	4	32	36
雑収益	126,300		126,300
<b>経常収益計</b>	<b>1,091,304</b>	<b>9,133,142</b>	<b>10,224,446</b>
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
研修費		2,880	2,880
通信運搬費		123,843	123,843
印刷製本費	3,521	233,244	236,765
諸謝金	151,400	6,213,710	6,365,110
福利厚生費	191,303		191,303
広告宣伝費			
会議費	5,283	6,800	12,083
旅費交通費	22,676	304,421	327,097
消耗品費		45,436	45,436
水道光熱費			
支払手数料	495	8,250	8,745
地代家賃			
賃借料			
保険料			
租税公課		166,200	166,200
減価償却費			
修繕費			
雑給			
雑費	10	1,630	1,640
<b>事業費計</b>	<b>374,688</b>	<b>7,106,414</b>	<b>7,481,102</b>
<b>2. 管理費</b>			
研修費			
通信運搬費	36,871	331,840	368,711
印刷製本費	230	2,066	2,296
諸謝金	45,550	409,950	455,500
福利厚生費			
広告宣伝費			
会議費			
旅費交通費	10,015	90,133	100,148
消耗品費	11,506	103,551	115,057
水道光熱費	4,104	36,940	41,044
支払手数料	83	743	825
地代家賃	73,260	659,340	732,600
賃借料			
保険料	1,000	9,000	10,000
租税公課	1,322	11,902	13,224
減価償却費			
修繕費			
雑給	20,000	180,000	200,000
雑費			
<b>管理費計</b>	<b>203,941</b>	<b>1,835,465</b>	<b>2,039,405</b>
<b>経常費用計</b>	<b>578,629</b>	<b>8,941,879</b>	<b>9,520,507</b>
税引前当期純利益	512,675	191,264	703,939
法人税等		110,305	110,305
当期純損益	512,675	80,959	593,634
当期正味財産増減額	512,675	80,959	593,634
前期繰越正味財産額	357,908	△ 48,243	309,665
当期繰越正味財産額	870,583	32,716	903,299

注) 非収益・収益事業への管理費(1対9)案分四捨五入により支払手数料合計825円の縦横小計に1円の相違が発生するものの計算書全体では適正な集計である。

## 財務諸表の附属明細書

2024年3月31日現在

### I 固定資産の明細

(単位:円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	償却累計率(%)
差入保証金	51,500			0	51,500	0	
合計	51,500	0	0	0	51,500		

※ 差入保証金は償却なし。

## 財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所等	使用目的等	金額
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>			
現金預金	現金	運営資金	2,182
	三井住友銀行	運営資金、事業用資金	3,227,914
未収収益	洛和ヴィラ文京春日	事業収益	473,000
	東京都立光明学園	事業収益	30,500
	新宿区	事業収益	968,000
	稲城市	事業収益	122,100
	山梨大学	事業収益	55,000
<b>流動資産合計</b>			<b>4,878,696</b>
<b>固定資産</b>			
その他の資産			
一括償却資産			
商標登録出願手数料	法人名及びCサボキャラクター		0
什器備品	本部事務所	カラーレーザープリンター	0
差入保証金	本部事務所	本部事務所賃貸借保証金	51,500
<b>固定資産合計</b>			<b>51,500</b>
<b>資産合計</b>			<b>4,930,196</b>
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金	消耗品費	プリンタートナー	57,000
	通信運搬費	レターパックライト購入代	37,000
預り金	源泉所得税	管理費(謝金)	661,397
未払法人税			110,300
未払い消費税等			161,200
<b>流動負債合計</b>			<b>1,026,897</b>
<b>負債合計</b>			<b>1,026,897</b>
<b>【正味財産の部】</b>			
基金			3,000,000
一般正味財産			903,299
<b>正味財産合計</b>			<b>3,903,299</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>4,930,196</b>

# 監査報告書

令和 6 年 5 月 1 7 日

一般社団法人 消費生活総合サポートセンター  
代表理事 小野 由美子 殿

監事 玉泉 勇二



私は、2023年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行について監査を行い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99号1項に基づき本報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私は、理事会等に出席し、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、理事等からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

また、会計帳簿またはこれに関する資料の閲覧を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財務諸表の附属明細書並びに財産目録・預金明細について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

事業報告は法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。また、理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

財務諸表及び財務諸表の附属明細書並びに財産目録・預金明細は、当法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

また、インボイス制度について適正な処理がなされているものと認めます。

### 第3号議案 理事の選任の件

定款第20条、第21条第1項及び第24条第1項にもとづき、以下のとおり理事を選任したくお諮りします。

尚、5月26日に開催した2024年度第1回理事会において、理事候補の選任の決議は可決されております。

#### 1. 理事候補（敬称略）

（再任）

會田 由美子（小野 由美子）	当法人 代表理事（会長）
新井 秀雄	当法人 専務理事
中上 直子	当法人 理事 消費者教育委員長
窪田 久美子	当法人 理事 広報委員長
内藤 恵美子	当法人 理事 事業委員長
江川 隆子	当法人 理事 福祉サービス第三者評価委員長
佐藤 雄一郎	当法人 理事 消費者志向経営委員長

#### 2. 任期

2026年6月開催予定の定時社員総会の終結の時まで

### 第4号議案 監事の選任の件

定款第20条、第21条第1項及び第24条第2項にもとづき、以下のとおり監事を選任したくお諮りします。

尚、5月26日に開催した2024年度第1回理事会において、監事候補の選任の決議は可決されております。

#### 1. 監事候補（敬称略）

（新任）

竹下 直昭

#### 2. 任期

2026年6月開催予定の定時社員総会の終結の時まで

## 報告事項

#### 1. 2024年度事業計画及び収支予算の件

2024年度の事業計画及び収支予算について、以下のとおりご報告します。

#### (1) 2024年度事業計画（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

消費生活総合サポートセンター（Cサポ）」は、消費者が直面する社会的課題の解決のため、基本方針となる3つの柱で活動し、消費者を総合的にサポートしてまいります。

以下に当センターの活動方針と併せて、2024年度、重点的に取り組む課題を記載します。

## 1. 情報の収集・発信

### ① 消費生活に関する講座

身近な消費生活に役立つ講座を、学校向け・各世代の社会人向けに実施します。また、新たに親子で参加できる新事業案に取り組みます。

### ② 福祉サービス第三者評価

福祉サービス選択のための情報提供と福祉サービスの質の向上に向けて、福祉サービスの第三者評価を行います。事務の安定的な運営が課題であり、引き続き検討を加えていきます。また、従たる評価者の活用と活性化、並びに増員も継続して取り組んでいきます。

### ③ 社会的課題のある消費者への対応

軽度の知的障害者及びその支援者に向けたキャッシュレス決済の金銭教育の講座を実施します。さらに支援者交流会を開催し、ネットワークの拡大を図ります。

## 2. リーダーとなる人材の育成

### ① 消費者教育の講師養成講座

昨年度に引き続き、学校現場等で関心の高いテーマ別教材(キャッシュレス決済、エシカル)を作成し、教員を支援します。教員や消費生活センターの職員向けスキルアップ研修に講師を派遣します。地方自治体での消費者教育研修等の委託事業にも積極的に取り組みます。

## 3. 行政・企業・団体との協働

### ① 消費者市民社会の実現

行政やさまざまな消費者団体、NPO等と連携し、そのネットワークを基に、全国ネットワーク会議を開催します。

### ② SDGsを核にした多様な団体との交流

持続可能な開発目標(SDGs)に向け、企業、団体と連携した学校での環境授業を実施します。SDGsの目標達成に必須のエネルギー関連の勉強会、施設見学会を行うなど、最新のエネルギー講座が開催できるようにEEべんとう会等の運営を通じて講師や会員のスキルアップを図ります。

## (2) 2024 年度収支予算

## 正味財産増減計算書

2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	非収益事業	収益事業	合 計
<b>I 経常収益</b>			
受取入会金	75,000		75,000
受取会費	372,000		372,000
事業収益		10,577,000	10,577,000
受取寄付金	200,000		200,000
その他収益			
受取利息			
雑収益	150,000		150,000
<b>経常収益計</b>	<b>797,000</b>	<b>10,577,000</b>	<b>11,374,000</b>
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
通信運搬費	2,000	321,000	323,000
印刷製本費	51,000	380,800	431,800
諸謝金	260,000	6,748,000	7,008,000
福利厚生費	180,000		180,000
広告宣伝費			
会議費	11,000	15,000	26,000
旅費交通費	64,000	451,000	515,000
消耗品費		33,000	33,000
水道光熱費			
支払手数料	3,000	39,200	42,200
地代家賃			
賃借料			
保険料			
租税公課		480,550	480,550
減価償却費			
修繕費			
雑給	30,000	197,000	227,000
雑費		7,000	7,000
<b>事業費計</b>	<b>601,000</b>	<b>8,672,550</b>	<b>9,273,550</b>
<b>2. 管理費</b>			
通信運搬費	35,600	320,400	356,000
印刷製本費	500	4,500	5,000
諸謝金	31,500	283,500	315,000
福利厚生費			
広告宣伝費			
会議費			
旅費交通費	8,900	80,100	89,000
消耗品費	11,000	99,000	110,000
水道光熱費	4,300	38,700	43,000
支払手数料	1,000	9,000	10,000
地代家賃	79,500	715,500	795,000
賃借料			
保険料	2,900	26,100	29,000
租税公課	2,700	24,300	27,000
減価償却費			
修繕費			
雑給	10,000	90,000	100,000
雑費			
<b>経常費用計</b>	<b>187,900</b>	<b>1,691,100</b>	<b>1,879,000</b>
	<b>788,900</b>	<b>10,363,650</b>	<b>11,152,550</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>8,100</b>	<b>213,350</b>	<b>221,450</b>
法人税等		115,400	115,400
<b>当期純損益</b>	<b>8,100</b>	<b>97,950</b>	<b>106,050</b>
当期正味財産増減額	8,100	97,950	106,050
前期繰越正味財産額	357,908	△ 48,243	309,665
次期繰越正味財産額	366,008	49,707	415,715